

今年度第3号となる担い手通信をお届けします。どうぞよろしくお願いいたします。

令和7年度産地交付金支援メニューについて

令和7年度に新設、要件変更、廃止のある支援メニューのお知らせになります。なお、令和6年10月時点での検討内容となりますので、国との協議により、交付要件や交付金単価等の内容が変更となる場合があります。

【新設】

○新市場開拓用米低コスト生産加速化助成

内容：新規需要米取組計画の認定を受け、低コスト生産の取り組みを行い、実需者と販売契約を締結し出荷・販売した場合、作付面積に応じて助成

品目：輸出用米

単価：6,000円/10a

○畑作物生産力向上助成

内容：製品たい肥を購入し、適正数量をほ場に散布し、対象作物を作付して販売した場合、作付面積に応じて助成

品目：麦・大豆・そば

単価：牛糞製品たい肥の場合：6,000円/10a

鶏糞製品たい肥（※）の場合：3,000円/10a

※鶏糞製品たい肥を散布する場合は、土壌診断を実施すること

○麦・大豆の地力向上助成（県枠メニュー）

内容：ゲタ対策に申請できる農業者が、土壌診断に基づき、施肥・土壌改良資材を施用した場合、当該作付面積に応じて助成（併せて、排水対策の実施が必須要件となります。）

品目：麦・大豆（大豆は令和6年産から支援）

単価：5,000円/10a（上限10,000円/10a）…令和7年産の単価は未定

【取組要件変更】

○低コスト生産助成

内容：新規需要米取組計画の認定を受け、専用品種で直播栽培を行い、出荷・販売した場合、作付面積に応じて助成

品目：飼料用米

単価：3,000円/10a（上限5,000円/10a）

○土地利用型野菜作付助成（県枠メニュー）

内容：対象作物を作付して販売した場合、作付面積に応じて助成

品目：えだまめ、キャベツ、たまねぎ、にんじん、ねぎ、にんにく、ばれいしょ、加工用トマト

単価：35,000円/10a（上限45,000円/10a）

※令和元年度以降、同一ほ場への支援は通算5年まで。（令和7年度から適用）

【廃止】

○ほ場整備エリア内の地力増進作物助成

○お問い合わせ先…奥州市農林部農政課農産係 TEL 34-1583 【直通】

Instagram 活用セミナーを開催します

Instagram を活用して商品やサービスの情報発信力を高めたい方を対象に、セミナーを開催します。

- 日 時：令和 6 年 12 月 21 日（土） 13 時～
場 所：江刺総合支所 多目的ホール
講 師：
・(株)スリーデイズ 伊藤 理恵 氏
・旅するマドンナ Maritrip 武田 莉愛 氏
対 象：
・商品又はサービスの P R を強化したい市内の起業者、創業者
・奥州市の農産品などを利用した商品を開発又は販売をしたい方
内 容：
○第 1 部：13 時～15 時 30 分
・基本的なマーケティングの考え方と自分にあった発信方法の選び方
・インスタグラマー 旅するマドンナ Maritrip の Instagram の効力法
○第 2 部：15 時 40 分～17 時
・Instagram の使い方の相談会（希望者のみ）
参 加 費：無料
申込方法：11 月中旬にホームページ等でお知らせします。
定 員：20 名（第 2 部は 10 名）
申込期限：令和 6 年 12 月 13 日（金）17 時まで

○お問い合わせ先…奥州市農林部農政課食農連携推進室 TEL 34-1587【直通】 / FAX 24-1992

農福連携の取組を支援しています

県南広域振興局農政部では、主に農業者と福祉事業所の作業請負契約による農福連携の取組を支援しており、両者のマッチング支援を実施しています。

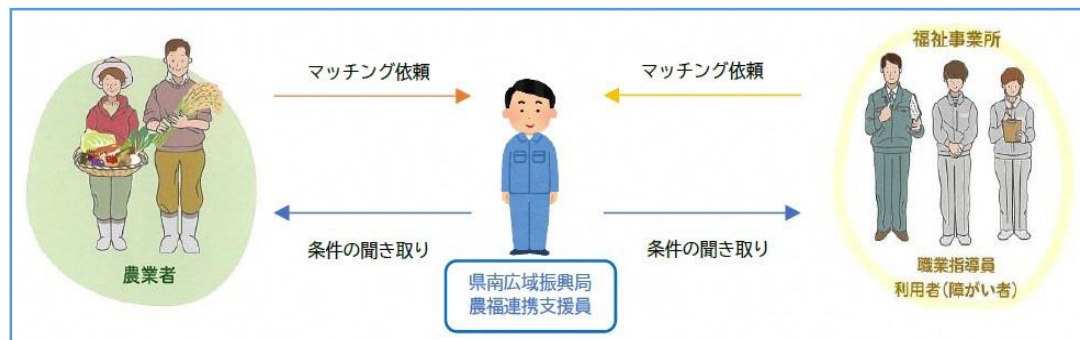
○農福連携とは？

農福連携とは、障がい者の農業分野での活躍を通じて、自信や生きがいを創出し、社会参画を促す取組です。

○支援の内容

農業者が福祉事業所に農作業を委託したい場合には、委託先を探す必要があります。

県南広域振興局の「農福連携支援員」が中心となって、農業者・障がい者就労継続支援事業所の双方に対して作業場所や移動時間、作業内容等の条件を聞き取り、お互いに納得できる形で作業の委託ができるよう、支援を行います。



農福連携に興味があるけれど、どうやって始めたらいいかわからない…という方は、お気軽にご相談ください！

○お問い合わせ先…県南広域振興局農政部農政調整課 TEL 22-2841 担当：佐藤

県オリジナル品種「金色の風」を作ってみませんか？

県では令和6年12月13日（金）まで「金色の風」の作付け経営体を募集しています。作付け要件は、①認定農業者、地域農業マスタープランにおける中心経営体、米の販売実績がある者。②前年産主食用米の作付面積が概ね市町村平均以上であること。③一等米比率の過去2年間平均が95%以上であること等です。なお、作付け登録（申請）はお近くのＪＡまでお願いします。

さて、今年は奥州市において、知事による「金色の風」の田植えと稲刈り行事が行われました。達増知事は、「金色の風」の生産者へ激励の言葉を贈り、「生産者の思いが消費者に伝わるよう、PRに力を入れていく」と話していました。

県のフラッグシップ米である「金色の風」をみんなで作付けしてみませんか？



常盤小5年生の声援の中、知事が田植え



各JAの栽培研究会会長等と稲刈りを実感

○お問い合わせ先…奥州農業改良普及センター TEL 35-6741 / FAX 35-6303

農業経営計画を作成してみませんか

経営計画作成個別相談会～経営計画の振り返り、作成を支援します

- ・対象 象：青年等就農計画策定から4～6年目の方等
- ・開催時期：令和6年12月～令和7年1月
- ・会場：奥州地区合同庁舎江刺分庁舎（江刺大通り7-13）
- ・内容：既存計画の振り返り、次年度以降の計画作成及び新規計画作成の支援を行います。
- ・募集経営体：10経営体程度（参加費：無料）
- ・申込締切：令和6年11月29日（金）
- ・お願い：お申込時に、参加者のお名前、住所、電話番号、経営作目、既存計画の有無についてお知らせください。

○お問い合わせ・申込先

胆江地方農林業振興協議会担い手育成支援班事務局
（奥州農業改良普及センター 地域指導課）

TEL 35-6741 / FAX 35-6303 / E-Mail ce0018@pref.iwate.jp

技術情報（大雪対策）についてのお知らせ

令和2年の冬は大雪により、奥州地域ではハウスが倒壊するなどの大きな被害が発生し、施設園芸や水稻育苗等に大きな影響がありました。

この冬も大雪の発生に備え、万全の対策を講じて被害軽減をはかりましょう。

【降雪時の対策】

- 1 降雪前から施設内の温度を高め、積雪の自然落下を促します。
 - (1) 暖房機が設置されている場合は、運転して室内温度を上げます。
 - (2) 暖房機がない場合、内部を密閉して気密性を高めることで、地熱により室内温を上昇させて屋根雪を滑り落ちやすくします。緊急に暖房（石油ストーブ等）を入れて融雪を促す場合は、くれぐれも火災や一酸化炭素中毒に注意してください。
 - (3) ハウス内でカーテンを使用している場合は、カーテンを開いて、屋根面からの放熱量を増して融雪を促します。
- 2 積もっているハウス側面の雪を遅れることなく除雪します。

ハウスの雪下ろしを行う場合、あらかじめハウスの周辺、特に両サイドの雪を取り除いてから上部に溜まった雪を下ろし、再度ハウス側面の雪を除雪します。

なお、散水による屋根の除雪・融雪については、滑落目的で降り始めから行い、積雪後は実施してはいけません。
- 3 除雪作業が追いつかない場合の緊急対策（非常手段）
 - (1) 積雪による重みや、側面からの圧力によるハウス骨材の損傷を防止するため、ビニールを切断・除去し、雪をハウスの内部にも入れます。この時、事故防止のため、作業は複数人で行います。なお、園芸施設共済に加入している方は、ビニールを切断・除去する前に必ず農業共済組合に連絡を入れてください。
 - (2) ハウスの倒壊が予測される場合には、ハウスへの立ち入りを避け事故を防ぎます。

【降雪後の対策】

- 1 耐雪強度を超えた積雪があった場合は、倒壊の恐れがありますので、ハウスに近付かないでください。また、ハウスの片側だけ太陽光があたったり、風によって積雪が偏ったりすると、ハウスのバランスが崩れ、倒壊する危険性があるので十分に注意します。
- 2 除雪を行う場合は、ヘルメット等をかぶり、複数人で作業を行うなど安全確保に努めます。
- 3 施設倒壊の恐れがなくなったら、施設各部の損傷や被覆資材の緩み等を点検します。また、屋根・軒下・ハウスの間に積雪がある場合は、次回の降雪に備えて直ちに除雪します。

【大雪になった時の注意】

ハウスの軒下に積もった雪は、屋根に積もった雪の滑落の妨げになるとともに、ハウスの側壁に圧力を加えます。また、降雪前にハウスビニールを剥いだ場合でも、施設全体もしくはハウスの軒高を超える積雪になると、大きな被害を受ける可能性があります。骨組が完全に雪に埋没しないうちに、できるだけ除雪を行います。湿った雪は骨組に付着するので注意が必要です。

●関連情報

農林水産省では、農業版BCP（事業継続）の活用、園芸施設共済、収入保険への加入などにより災害に負けない施設園芸づくりを推進しています。関連する各種被害防止技術等の情報を岩手県ホームページに掲載していますので、これらの情報も参考にして対策に努めてください。

岩手県ホームページ <https://www.pref.iwate.jp/sangyoukoyou/nougyou/seisan/1022400/index.html>

○お問い合わせ先…奥州農業改良普及センター TEL 35-6741

農薬管理使用アドバイザーになってみませんか？

県では、農薬の安全で適正な使用を普及・推進するため、農薬を取り巻く状況や法律上の扱い等の基本的な知識を販売者や使用者に周知する機会を提供し、農薬の適正管理・安全使用に関して一定の知識を有する方を「農薬管理使用アドバイザー」として認定しています。

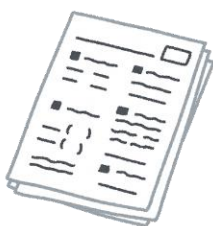
★どのような人がなれますか？



県内に勤務または居住する満 18 歳以上の方を対象とします。

これまで、農薬販売者、JA・NOSAI・ゴルフ場・産直組合等の関係者、防除業者、農業者など、農薬の使用に関わる様々な分野の方を認定しています。

★どうすれば認定されますか？



養成研修受講後の試験で 70 点以上(100 点満点)取得した方が認定されます。なお、薬剤師や防除指導員、農薬安全コンサルタント等の有資格者は試験免除となります。認定期間は、研修受講年度の翌年度の 4 月 1 日から 3 年間となります。

1 研修会の日時・場所

月 日	会場	所在地等
令和 7 年 1 月 16 日 (木)	花巻市文化会館	花巻市若葉町三丁目 16 番 22 号 電話：0198-24-6511
令和 7 年 1 月 22 日 (水)	岩手産業文化センター ツガワ未来館アピオ	滝沢市砂込 389-20 電話：019-688-2000

※時間はいずれも、受付：9 時 00 分～9 時 30 分、研修：9 時 30 分～15 時 50 分、試験：15 時 50 分～16 時 50 分 です。

2 お申込み・お問い合わせ

受講には事前申し込みが必要です。

★受講は無料ですが、テキスト代 2,500 円が別途必要です。

★申請書は岩手県の下記ホームページからダウンロードするか、

<https://www.pref.iwate.jp/sangyoukoyou/nougyou/nougyougijutsu/nouyaku/1007712.html>

奥州農業改良普及センターにお問い合わせください。

★申請先がそれぞれ異なりますので、上記ホームページで御確認いただくか、普及センターにお問い合わせください。

★申し込み締め切り：令和 6 年 11 月 22 日 (金) 必着

○お問い合わせ先…奥州農業改良普及センター TEL 35-6741 / FAX 35-6303



農業を始める前に、まずご相談を！

胆江地方ニューファーマー募集

胆江地方ニューファーマーは、先進農家のもとで実践的な研修を行い、就農準備から就農後までトータルでの支援が受けられます。

ご興味のある方は、まずは就農相談窓口にお気軽にご参加下さい！



<応募締切>

12月13日(金)

条件によっては、補助事業の併用もできます。
まずは相談！

<胆江地方ニューファーマー応募資格>

以下①～④のすべてに該当する人

①研修を経て奥州市又は金ケ崎町に就農する人

②概ね50歳未満の人

③胆江地方の主要品目で就農する人

<主要品目> トマト、ピーマン、きゅうり、
りんどう、りんご、水稻、
肉用牛、酪農

④就農後は農業で生計をたてる意向を有する人

就農相談窓口の日 開設日

毎月第2木曜日に開催！ 後継者や農業を始めたい方、会社在职中にご相談ください！

R⁶ 11/14、12/12、R⁷ 1/9、2/13、3/13

奥州農業改良普及センターHP

- ・場所：奥州地区合同庁舎江刺分庁舎 3階 第2会議室
- ・時間：1回目：10:00～ 2回目：13:30～ 3回目：15:00～
- ・申込：相談日の3日前までにお申し込みください。



※12/12、2/13はオンラインによる相談も受付しています。

オンライン相談を御希望の方は、相談日の10日前までにお申し込みください。

○お問い合わせ先…奥州農業改良普及センター 地域指導課 TEL 35-6741 / FAX 35-6303

新規就農者の情報募集中！

奥州農業改良普及センターでは、地域の新規就農者支援のため、新規就農者の情報を集めています。

情報をいただいた新規就農者の方には、今後、各種研修会（土づくり研修、農業簿記研修、岩手県立農業大学校新規就農者研修など）や事業等の情報を直接お知らせします。

お近くで就農した方の情報がありましたら、奥州農業改良普及センターへ情報をお知らせください。*

○対象者 令和7年3月末までに市内に就農または就農見込の方（年齢制限なし）

○締切 令和6年11月29日（金）

※「〇〇さんが新規就農した」という情報も個人情報となりますので、ご本人の了承を得た上で、情報提供をお願いします。

○お問い合わせ・連絡先

奥州農業改良普及センター 地域指導課

TEL 35-6741 / FAX 35-6303 / E-Mail ce0018@pref.iwate.jp

畜産農家対象の補助事業 生産性の高い飼料基盤の整備

『草地畜産基盤整備事業』参加者を募集します！

第1次期限 R6.12.6

草地畜産基盤整備事業は飼料生産基盤と農業用施設の整備を一体的に行うことにより、担い手を主体とした畜産主産地の形成、再編整備等を図る国の補助事業です。

県南広域振興局では、奥州市、金ヶ崎町と連携し、令和10年度からの事業着手に向けて準備を進めています。

自給粗飼料を確保するために、原野や転作田等を草地に転換したい、大型機械で作業しやすい牧草地に整備したい、と考えている方は事業の活用をご相談ください！



施行事例
R4年度(金ヶ崎町)
原野を採草地に整備



1 補助対象メニュー（畜産担い手総合整備型）

〔基本〕

造成改良 …非草地（原野、山林、水田、畑、防風林等）を草地に転換すること

整備改良 …既存草地の障害物除去、起伏修正等により大型機械が効率的に稼働できる牧草地に整備すること

〔自由選択〕 ※基本とのセットで実施可能

畜舎（牛舎）、家畜排せつ物処理施設（堆肥舎、尿溜等）、飼料調製貯蔵施設、飼料生産調製用機械、障害物 等

2 補助率

補助対象経費の50%以内

詳細はこちらから
振興局ホームページ
QRコード→



3 事業参加の意思表示やお問合せを頂いた方には、市及び県の担当者が訪問して事業の説明をいたします。

○お問い合わせ先 奥州市農林部農政課畜産係 TEL 34-1581 【直通】

県南広域振興局農政部 畜産担当 TEL 22-2842

令和6年度肉用牛生産性向上研修会開催のお知らせ

- 内 容：生産コスト高騰下における生産性向上対策の再考（仮）
- 講 師：北里大学獣医学部動物資源科学科 准教授 鍋西久 氏
- 日 時：令和6年11月21日（木）13：30～16：00
- 場 所：（現地）岩手産業文化センター 第8会議室
（WEB会場）ZOOMによる開催
 - ・県南広域振興局分庁舎大会議室
 - ・江刺農協第3会議室
 - ・自宅
 上記からお選びいただけます。

■申込期限

令和6年11月11日（月）

■申請方法

下記申込先までお電話ください。

○お問い合わせ・申込先 県南広域振興局農政部 畜産担当 TEL 22-2842 担当 高橋

北上川地域スマート農業実証事業の紹介・ 最新スマート農業機械の実演会開催のお知らせ

（株）西部開発農産では、令和2年度から令和5年度にかけて実施したスマート農業実証事業の概要説明と最新スマート農業機械の実演等を予定しております。

- 日 時：令和6年11月22日（金） 時間未定
- 場 所：奥州市水沢地域
- 内 容 ①（株）西部開発農産におけるスマート農業実証事業の紹介
②スマート農機（自動操舵システム、圃場均平システム、完全自動飛行ドローン、穀物乾燥機）の実演、紹介

※時間、場所等の詳細は、市ホームページ等で後日お知らせします。

○お問い合わせ先…奥州市農林部農政課農政係 TEL 34-1582 【直通】

●お問い合わせ先

奥州市農林部農政課 担当（水 田）：岩渕、佐藤（雄） 【直通】TEL 34-1583
【代表】TEL 24-2111 担当（担い手）：石川、千田 【直通】TEL 34-1582

●奥州市農業再生協議会の主な構成団体（お問い合わせ先）

奥州市農林部	TEL 24-2111	FAX 24-1992
奥州市農業委員会	TEL 24-2111	FAX 24-1992
県南広域振興局農政部	TEL 22-2841	FAX 22-6194
奥州農業改良普及センター	TEL 35-6741	FAX 35-6303
岩手ふるさと農業協同組合	TEL 41-5208	FAX 41-5209
岩手江刺農業協同組合	TEL 31-1321	FAX 35-0210
胆江地方土地改良区理事長協議会	TEL 31-1055	FAX 31-1058
岩手県農業共済組合県南基幹センター	TEL 25-6631	FAX 22-3256